

報 告

令和元年8月20日
環 境 局
環 境 産 業 推 進 課

第三セクターの経営情報について
(西日本ペットボトルリサイクル株式会社)

1 会社概況（平成31年3月末現在）

(1) 主要な事業内容

ペットボトルリサイクル事業

（食品容器用再生PET樹脂製品及び非食品用途再生PET樹脂製品の製造）

(2) 本社・工場

北九州市若松区響町一丁目62番（平成10年7月稼動）

(3) 株式及び市出資額

| | |
|------------|----------------|
| ①資本金 | 1億円 |
| ②発行済み株式の総数 | 2,000株 |
| ③当期末株主数 | 5名 |
| ④市出資額 | 500万円（出資比率 5%） |

(4) 当期末従業員

44名（常勤役員3名を除く）

2 平成30年度事業報告

(1) 全国のペットボトルリサイクルの状況

主な原料調達先である（公財）日本容器包装リサイクル協会（※容器包装リサイクル法に基づく指定法人）による、平成30年度の全国の自治体からの引取量は、21万1,500トンと前年度から1万2,700トン増加した。

落札価格（※有価での買取り）は、上期がトン当たり3万1,000円と前期から6,800円値下がりしたが、下期は、新品PET樹脂価格が上昇傾向であることに加え、再生PET樹脂の需要の高まりなどを受け、3万6,300円と5,300円値上がりした。

(2) 原料入荷の状況

価格と量の確保とのバランスに配慮して入札に臨んだ結果、平成30年度上期は1万500トン、下期は6,900トンとほぼ目標量を確保した。

また、中国の輸入停止の影響を受け、国内にとどまっている指定法人ルート以外の事業系原料（※自動販売機や飲食店等から回収されるもの）を安価に調達し、当年度の合計では、前年度比1,300トン減の2万3,400トンとなった。

(3) 生産の状況

ペットボトルを破碎・洗浄した「フレーク」、及びフレークを加熱溶融し、粒状に成形した「ペレット」を生産し、年間出荷量は前年度比900トン減の1万7,800トンとなった。

(4) 販売の状況

新品のPET樹脂価格に連動して再生PET樹脂の価格が変動したことや、出荷量の減に伴い、売上高は前年度より2億200万円減の18億1,400万円となった。

(5) 財務の状況

| | |
|-------|---------------------------|
| 経常利益 | 1億5,601万円（H29：5,911万円の利益） |
| 当期純利益 | 1億1,326万円（H29：5,855万円の利益） |

(6) その他

北九州エコタウン第一号立地企業。

市が設置する環境産業推進会議に参画するほか、北九州エコタウン連絡会議において中心的役割を果たすなど、国内の資源循環や、本市の環境産業振興に寄与。

(参考) 令和元年度の状況

令和元年度（上期）落札結果

- 全国平均落札単価：1トン当たり3万3,601円での買取り
- 同社落札量：9,997トン

3 決算報告書

損益計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(千円)

| 科 目 | 金 額 |
|----------------|---------|
| 営業損益 ① | 66,558 |
| 営業外損益 ② | 89,456 |
| 経常損益 ①+②=③ | 156,014 |
| 特別損益 ④ | ▲2,271 |
| 税引前当期純損益 ③+④=⑤ | 153,743 |
| 法人税・住民税及び事業税 ⑥ | ▲40,481 |
| 当期純損益 ⑤+⑥=⑦ | 113,262 |

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(千円)

| 資 産 の 部 | | 負債及び純資産の部 | |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 流動資産 | 603,804 | 流動負債 | 505,933 |
| 固定資産 | 1,784,246 | 固定負債 | 812,883 |
| 有形固定資産 | 1,769,826 | 負債合計 | 1,318,816 |
| 無形固定資産 | 13,333 | 資本金 | 100,000 |
| 投資等 | 1,087 | 利益剰余金 | 969,234 |
| | | 純資産合計 | 1,069,234 |
| 合 計 | 2,388,050 | 合 計 | 2,388,050 |